

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月28日

協議会名:南城市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)鏡原第一交通	市内区域運行(ドアtoドア)によるデマンド交通	車両の小型化による経費節減、Nバス(市内線バス)の導入及び運賃改定による高齢者が利用しやすい環境づくり。	A 南城市生活交通確保維持改善計画のとおり事業は適切に実施された。	B ○1日当たり利用者数 目標:63.0人/日 実績:48.8人/日 ○1便あたりの利用者数 目標:2.2人/便 実績:1.9人/便 ○市民(成人)一人あたりに換算した負担額 目標:46円/月 実績:45円/月	新型コロナウイルス感染症流行後に、利用促進に向けた「公共交通だより」等に情報提供を行い利用者数の回復を図るとともに、利用者が回復した場合は、従前に定めた基準にしたがい増減便を行い、運行効率の向上を図る。